

「第40回国民文化祭・ながさき2025（仮称）」について

基本的な考え方

- 長崎県は、古くから日本の海外交流の窓口であり、先進文化と技術の中継地として大きな役割を果たすとともに、西洋と東洋が融合した独自の文化を育ててまいりました。
- 「明治日本の産業革命遺産」、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の2件の世界遺産、「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」など4件の日本遺産、さらには世界の記憶「朝鮮通信使に関する記録」が登録されており、まさに本県の豊かな文化が高い評価を受けている証だと捉えております。
- 令和4年度には、待望の九州新幹線西九州ルート開業により、国内外から多くの観光客の増加が見込まれます。また、MICE施設（出島メッセ長崎）開業や「長崎スタジアムシティ」開業など、まさにこれから長崎の街が大きく変わろうとしています。
- そして、令和7年度は被爆80年であり、また、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館開館20周年、長崎空港開港50周年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年を迎えます。この節目の年に国民文化祭を開催することは、文化芸術の振興はもとより、平和の発信、国際交流の推進など本県固有の文化の魅力を広く発信し、国内外とのさらなる交流拡大につなげていく大きな契機となります。
- また、人口減少や地域活力の低下といった構造的な課題を抱える本県において、国民文化祭の開催を通じ、県民が本県文化の価値を再認識するとともに、地域文化の魅力向上や文化を担う人材の育成などに県・市町、文化団体等が一体となって取り組むことにより、自立した文化芸術活動による地域活性化につなげていきたいと考えております。

開催時期

令和7年 秋（予定）

参 考

国民文化祭の開催実績及び開催県の内定状況

回	年度	開催地	回	年度	開催地	回	年度	開催地
第1回	S61	東京都	第15回	H12	広島県	第29回	H26	秋田県
第2回	S62	熊本県	第16回	H13	群馬県	第30回	H27	鹿児島県
第3回	S63	兵庫県	第17回	H14	鳥取県	第31回	H28	愛知県
第4回	H1	埼玉県	第18回	H15	山形県	第32回	H29	奈良県
第5回	H2	愛媛県	第19回	H16	福岡県	第33回	H30	大分県(2)
第6回	H3	千葉県	第20回	H17	福井県	第34回	R1	新潟県
第7回	H4	石川県	第21回	H18	山口県	第35回	R2	宮崎県
第8回	H5	岩手県	第22回	H19	徳島県	第36回	R3	和歌山県
第9回	H6	三重県	第23回	H20	茨城県	第37回	R4	沖縄県
第10回	H7	栃木県	第24回	H21	静岡県	第38回	R5	石川県(2)
第11回	H8	富山県	第25回	H22	岡山県	第39回	R6	岐阜県(2)
第12回	H9	香川県	第26回	H23	京都府	第40回	R7	長崎県
第13回	H10	大分県	第27回	H24	徳島県(2)			
第14回	H11	岐阜県	第28回	H25	山梨県			

(今回内定)